

■各事業の見どころ

●美術・生活文化・伝統文化編

①大薩摩焼展

陶芸家の作品展や子ども約1000点の作品展などを通じて、薩摩焼の魅力を発信します!



④小倉百人一首かるた競技全国大会

競技かるたは「畳の上の格闘技」と形容され、会場に敷き詰められた480畳の畳の上で繰り広げられるトップレベルの戦いは圧巻です!



⑧能楽の祭典

能楽師の模範演能と全国の能楽愛好者による能、狂言などが披露されます。



能「枕愁童」(撮影:辻井清一郎)

●演劇・舞踊編

③現代劇の祭典

青森を拠点に全国で活躍する劇団「渡辺源四郎商店」の『みなぎる血潮はらっせー』を上演。極限まで抽象化した世界で、女優2人が衣装やメイクを変えずに20役以上を早変わりします!



⑨本場大島紬フェスティバル

本場大島紬の多彩な魅力を紹介。鹿児島純心女子短期大学生による洋装ファッションショーでは、大島紬の斬新なデザインが必見です!



⑤洋舞フェスティバル

鹿児島で長年活動してきたクラシックバレエ、ジャズダンスの団体を中心に、他県から6団体の参加、国内外で活躍するゲストダンサーを加え、総勢約300人出演の舞台です。

「生命の輝き、薩摩の熱き心を舞う」と題して、オープニングは未来を託して、子どもたちのクラシックバレエで幕が開きます。鹿児島の古代、現代をテーマにした創作バレエ、2団体によるジャズダンス、クラシックバレエ「パキータ」など多彩なプログラムが予定されています。ジャンルを越えたダンスパフォーマンスのコラボレーションを存分にお楽しみください。



黒田 京子さん
「洋舞フェスティバル」企画委員長



藤 英子さん
「ティーンズアートフェスティバル」企画委員長

⑩ティーンズアートフェスティバル

「生きることは、表現すること!」をスローガンに、13歳から18歳までの子どもたちが演劇を中心とした舞台表現を行います。

ティーンズ=中高生が持つ、限りないエネルギーと仲間の中で大きく成長を見せる姿は、注目されており、鹿児島の新たな文化として根付いてきています。今回は、県内各地で活動している子どもたちが一堂に会し、作品を発表するほか、国の重要無形民俗文化財に指定されている淡路人形浄瑠璃を兵庫県淡路島の中学生が上演します。ぜひ会場で、子どもたちのパワーを感じてください。



●音楽編

②大正琴の祭典



全国から大正琴愛好者が集い、会派・流派や地域を越えて競演します。

⑥吹奏楽の祭典

オーディションを経て結成された「かごしま中高選抜バンド」のステージや昨年度、全国響学校合奏コンクールで最高賞を受賞した「鹿児島響学校中学部」の演奏もお楽しみに!



⑬ダンススポーツフェスティバル

ダンスを愛する老若男女が日頃練習した技とステップを華麗に熱く競い合い、魅せます!



⑪マーチングバンド・バトントワーリングの祭典



県内外の団体による躍動と感動に満ちた夢の祭典です!

⑫合唱の祭典

マツケンサンバⅡの作曲家、宮川彬良氏の特別ステージあり。合唱の素晴らしさを体感してください!



⑭オペラの祭典

鹿児島を素材にした創作オペラ「ミスター・シンデレラ」を上演します!



⑦オーケストラの祭典



MBCユースオーケストラ
やすざわ ひろか
保澤 広花さん
(中学1年生)

3歳の頃からバイオリンを始めて、小学5年生からMBCユースオーケストラで演奏しています。練習では音程や姿勢に気を付けながら、自分が「これだ」と思う音を目指して頑張っています。オーケストラでは大勢で練習したり、先輩やプロの演奏家から学んで、一流の音楽に触れることができ楽しいです。国民文化祭では青少年オーケストラに参加します。今回演奏するストラビンスキーの「火の鳥」は、独創的で絢爛豪華なバレエ組曲で、ストーリーに沿って音楽が進みます。ぜひ、多くの皆さんに聴いていただき、楽しんでもらいたいです。

※詳しくは24面をご覧ください!

よ今月31日、開幕します。今月の特集で概要を紹介していますが、このイベントは、全国各地で行われている各種の文化活動を全国的規模で発表、競演する場として、毎年、持ち回りで開催されている国内最大の文化の祭典です。県内の全市町村で16日間、さまざまなイベントが開催されます。

本市では、「鹿児島市ふるさと大使」の下野竜也さんが指揮をするオーケストラの祭典などの14事業をはじめ、県主催事業なども合わせ、23事業が開催されます。学生から高齢者まで幅広い年齢の愛好者や文化団体が全国から集まり、鹿児島を舞台に繰り広げられる珠玉のステージを楽しむことができます。

全国レベルの素晴らしい競技や発表などを多くの市民の皆さんにご覧いただき、感動を共有できることを楽しみにしています。本市へ来られる皆さんに鹿児島島の歴史や文化、自然、豊かな食など、秋の薩摩路を堪能していただき、再びこの地を訪れてみたいと思っただけなら、市民総出のおもてなしをよろしく願います。

■国民文化祭がいよいよ開幕します!
「第30回国民文化祭・かごしま2015」がいよいよ今月31日、開幕します。今月の特集で概要を紹介していますが、このイベントは、全国各地で行われている各種の文化活動を全国的規模で発表、競演する場として、毎年、持ち回りで開催されている国内最大の文化の祭典です。県内の全市町村で16日間、さまざまなイベントが開催されます。

お弁当には、作る人の思いや、食文化もいっぱい詰まっています。皆さんも気軽に「お弁当を持って、スポーツの秋、行楽の秋、食欲の秋を満喫してみてください。」

お弁当には、作る人の思いや、食文化もいっぱい詰まっています。皆さんも気軽に「お弁当を持って、スポーツの秋、行楽の秋、食欲の秋を満喫してみてください。」

■お弁当の魅力
「天高く馬肥ゆる秋」を迎え、学校や町内会などで各地で運動会が開催されています。この運動会の楽しみのひとつがお昼のお弁当ではないでしょうか。お弁当は、調理済みの干したお米などを携帯食として持って出かけたのが始まりと言われ、竹の皮に包んだおにぎり弁当、花見弁当、幕の内弁当、駅弁など、時代とともに多種多様な日本の食文化へと発展してきました。



市民とともに
鹿児島市長
森博幸